

報告事項 才

平成24年度学校保健統計調査結果について

平成24年度学校保健統計調査結果について、別紙のとおり報告します。

平成25年1月15日

鳥取県教育委員会教育長 横濱 純一

平成24年度学校保健統計調査結果について

スポーツ健康教育課

1 調査の目的

文部科学省が所管する基幹統計調査であり、学校における幼児、児童及び生徒の発育状態及び健康状態を明らかにすることを目的とする。

2 調査の範囲・対象

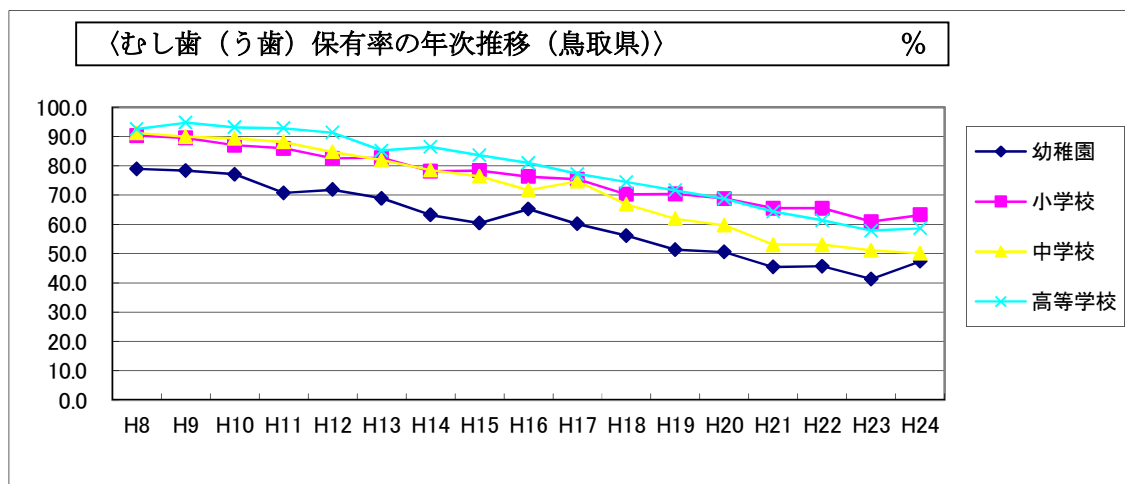
文部科学大臣が指定した県内142校（幼稚園、小学校、中学校、高等学校）に在籍する5歳から17歳（平成24年4月1日現在）までの幼児、児童生徒の一部。
（抽出率 発育状態：18.2%、健康状態：68.5%）

3 調査結果の概要

別添「平成24年度 学校保健統計調査結果（鳥取県）速報」のとおり

4 特記事項

- う歯保有率は、本県の年次推移を見ると、どの学校区分においても減少傾向にあったが、H24年度は、幼稚園、小学校、高等学校で増加に転じている。また、全国平均値と比べると、どの学校区分も高い状況にある。



- 喘息の疾患率は、昨年度に比べると小学校・中学校・高等学校において減少しているが、全国平均値に比べると、幼稚園男子を除く全ての学校区分において疾患率が高い状況である。
- アトピー性皮膚炎は、全国平均と比べると、幼稚園男子を除く全ての学校区分において疾患率が高い状況である。

H24 全国平均値との比較 (%)

区 分	ぜん息		アトピー性皮膚炎		
	鳥取	全国	鳥取	全国	
男子	幼稚園	1.8	2.91	2.8	3.04
	小学校	8.2	5.09	7.6	3.56
	中学校	5.5	3.54	4.9	2.62
	高等学校	3.7	2.22	4.2	2.26
女子	幼稚園	1.9	1.74	4.3	2.70
	小学校	4.4	3.30	6.6	2.92
	中学校	3.3	2.34	4.3	2.32
	高等学校	2.9	1.59	4.6	1.87

解 禁 日 時	
テレビ・ラジオ	平成24年12月25日午後5時以降
新聞	平成24年12月26日付朝刊
ホームページ掲載	平成24年12月25日午後6時

資料提供	
平成24年12月25日	
担当課 (担当者)	統計課 (小川恭左)
電話	0857-26-7105

平成24年度 学校保健統計調査結果(鳥取県)速報

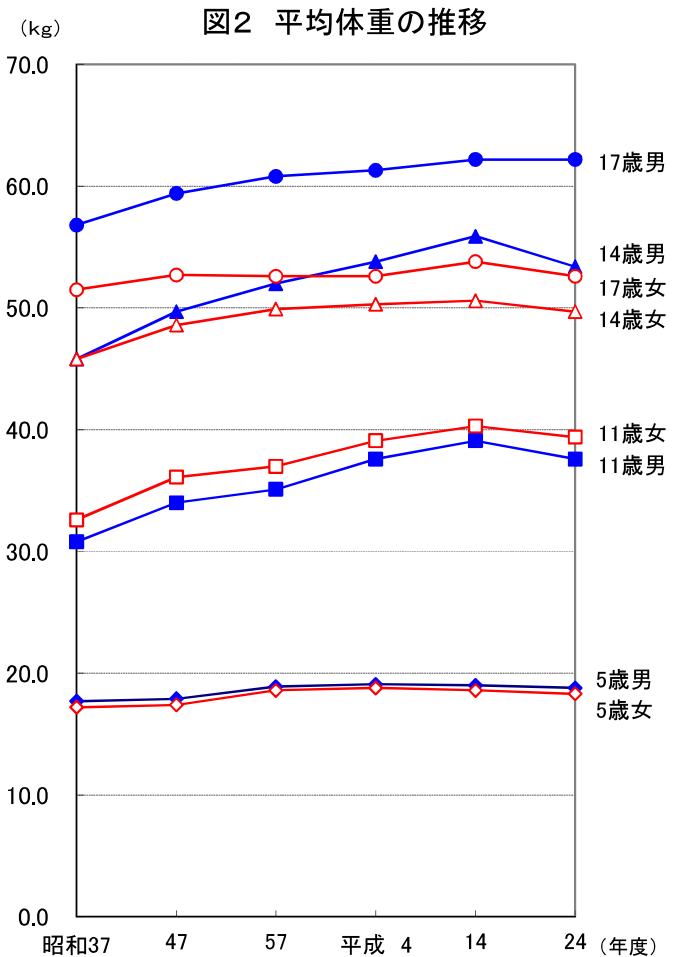
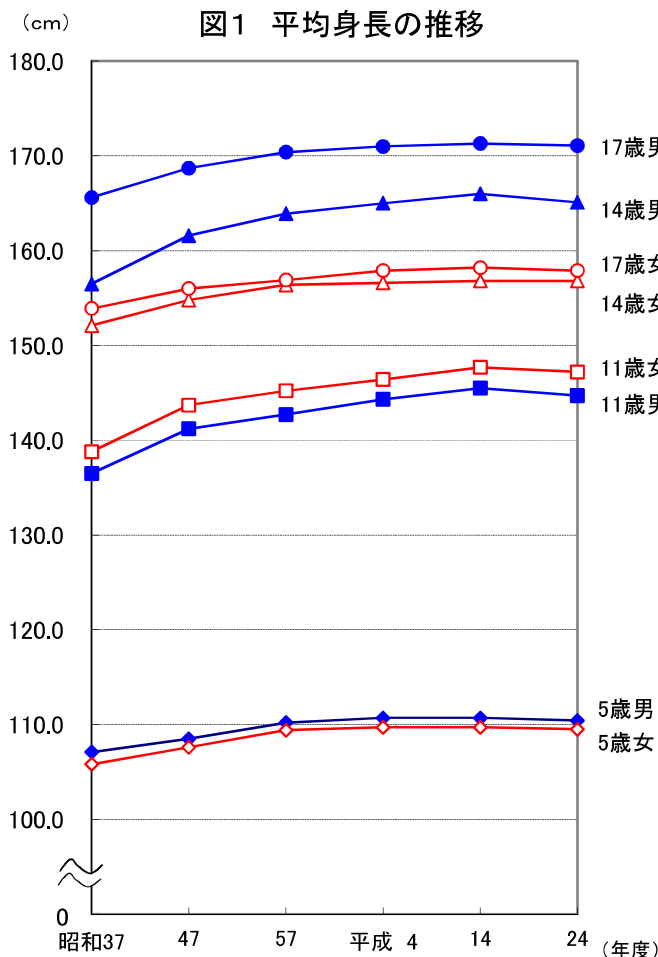
調査の目的等

この調査は、文部科学省が所管する基幹統計であり、学校における幼児、児童及び生徒の発育及び健康の状態を明らかにし、学校保健行政上の基礎資料を得ることを目的としている。

平成24年4月1日から6月30日までの間に実施された健康診断の結果に基づき、幼稚園から高等学校に在籍する満5歳から17歳(平成24年4月1日現在)までの幼児、児童及び生徒の一部について実施した。

- ・身長は、30年前(親世代)と比べ、男子は、全ての年齢において上回っている。女子は、同水準だった6歳を除く全ての年齢において上回っている。
- ・体重は、30年前(親世代)と比べ、男子は、5歳を除く全ての年齢において上回っている。女子は、5歳、14～16歳で下回り、17歳で同水準となっているほかは、上回っている。
- ・肥満傾向児の出現率は、幼稚園を除く全ての学校区分において全国平均値を下回っており、中学校においては、全国で最も低くなっている。
- ・「むし歯(う歯)」の者の割合は、男女ともに全ての学校区分において全国平均値より高くなっている。
- ・「ぜん息」の者の割合は、幼稚園の男子を除く全ての学校区分において全国平均値より高くなっている。
- ・「アトピー性皮膚炎」の者の割合は、幼稚園の男子を除く全ての学校区分において全国平均値より高くなっている。
- ・30年前(親の世代)と比べ、「むし歯(う歯)」の者の割合は大幅に低くなっているが、「裸眼視力1.0未満」の者及び「ぜん息」の者の割合は高くなっている。

※30年前(親の世代)は、昭和57年度の数値である。



目 次

	ページ
I 調査の概要 -----	1
II 調査結果の概要 -----	2
1 発育状態 -----	2
(1) 身長 -----	2
(2) 体重 -----	4
(3) 座高 -----	6
2 健康状態 -----	8
(1) 前年度との比較 -----	8
(2) 全国平均値との比較 -----	9
(3) 30年前(親の世代)との比較 -----	9
参考 -----	10
表1 都道府県別 肥満傾向児の出現率 -----	10
表2 都道府県別 痩身傾向児の出現率 -----	11

統計表の中の記号は次のように使う

- 「 - 」 ----- 該当者がいない場合
- 「 0.00 」 ----- 計数が単位未満の場合
- 「 … 」 ----- 調査対象とならなかった場合
- 「 x 」 ----- 標本サイズが小さい、または標準誤差が大きい
ため統計数値を公表しない

I 調査の概要

- 1 目的
学校における幼児、児童及び生徒の発育及び健康の状態を明らかにすることを目的とする。
- 2 調査の根拠
学校保健統計調査規則(昭和27年文部省令第5号)に基づいて実施される基幹統計調査
- 3 調査の範囲・対象
 - (1) 調査の範囲は、幼稚園、小学校、中学校、高等学校及び中等教育学校のうち、文部科学大臣があらかじめ指定した学校(以下「調査実施校」という。)
 - (2) 調査の対象は、調査実施校に在籍する満5歳から17歳(平成24年4月1日現在)までの幼児、児童及び生徒(以下「児童等」という。)の一部。
- 4 調査事項
 - (1) 発育状態調査
児童等の発育状態(身長、体重及び座高)
 - (2) 健康状態調査
児童等の健康状態(栄養状態、脊柱・胸郭の疾病・異常の有無、視力、聴力、眼の疾病・異常の有無、耳鼻咽喉疾患・皮膚疾患の有無、歯・口腔の疾病・異常の有無、結核の有無、心臓の疾病・異常の有無、尿、寄生虫卵の有無、その他の疾病・異常の有無及び結核に関する検診の結果)
- 5 調査の期日
平成24年4月1日から6月30日までの間に実施された学校保健安全法(昭和33年法律第56号)による健康診断の結果に基づき調査。
- 6 調査対象校数及び調査対象者数
調査実施校数、調査対象者数は次のとおりである。

区分	調査実施校数	発育状態調査		健康状態調査	
		調査対象者数(人)	抽出率(%)	調査対象者数(人)	抽出率(%)
小学校	57校	5,333	16.8	19,818	62.4
中学校	36校	4,166	25.4	12,132	74.0
高等学校	23校	2,003	12.2	13,743	83.9
幼稚園 (5歳児)	26校	969	23.5	1,287	31.3
計	142校	12,471	18.2	46,980	68.5

- 7 今後の予定について
確定値については、平成25年3月に文部科学省から公表予定。

II 調査結果の概要

1 発育状態

(1) 身長

ア 前年度との比較

- ・男子は、7歳、13歳、16歳の各年齢で前年度より増加している。
- ・女子は、5歳、7歳、9～14歳の各年齢で前年度より増加している。

イ 全国平均値との比較

- ・男子は、7～9歳、13歳、15～17歳の各年齢で全国平均値を上回っている。
- ・女子は、7～12歳、14～16歳の各年齢で全国平均値を上回っている。

ウ 30年前(親の世代)との比較

- ・男子は、全ての年齢において30年前を上回っている。
- ・女子は、6歳で同水準となっているほかは、30年前を上回っている。
- ・最も伸びの大きい年齢は、男子が12歳(152.1cm)及び13歳(159.7cm)で2.2cm、女子は11歳(147.2cm)で2.0cm高くなっている。

エ 男子と女子の比較

- ・10歳及び11歳で、女子が男子を上回っている。

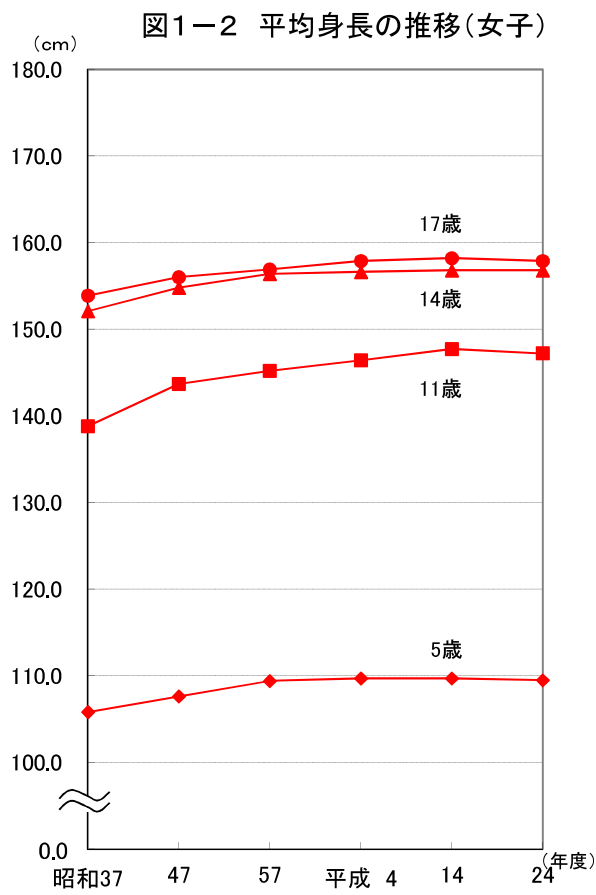
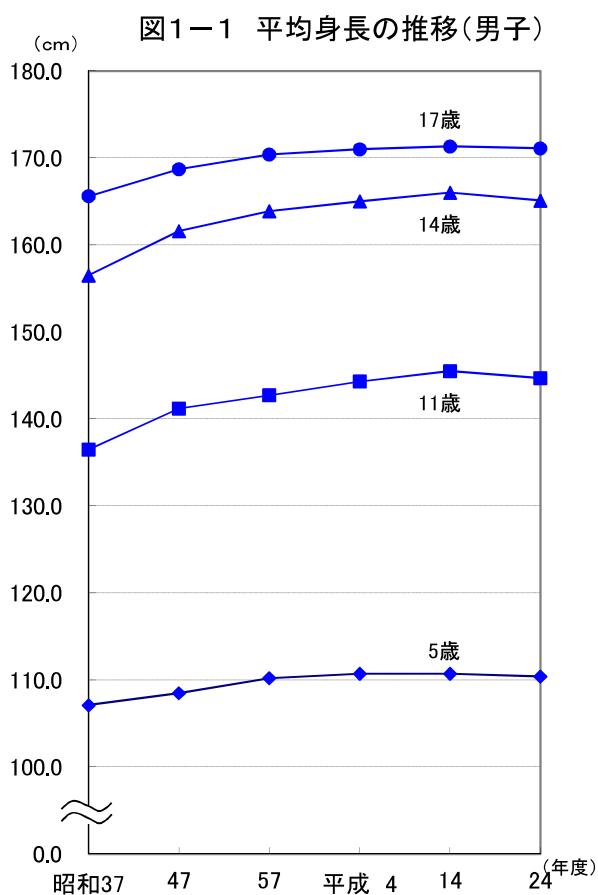


表1 年齢別 身長の平均値

(単位:cm)

区分		平成24年度 (A)	平成23年度 (B)	前年との差 (A-B)	全国(H24) (C)	全国との差 (A-C)	30年前(親の世代) (D)	親の世代との差 (A-D)	
男子	幼稚園	5歳	110.4	110.4	0.0	110.5	-0.1	110.2	0.2
		6歳	116.3	116.9	-0.6	116.5	-0.2	116.1	0.2
	小学校	7歳	122.7	122.3	0.4	122.4	0.3	121.4	1.3
		8歳	128.4	128.6	-0.2	128.2	0.2	127.0	1.4
		9歳	134.0	134.0	0.0	133.6	0.4	132.1	1.9
		10歳	138.7	139.1	-0.4	138.9	-0.2	136.9	1.8
		11歳	144.7	145.0	-0.3	145.0	-0.3	142.7	2.0
	中学校	12歳	152.1	153.0	-0.9	152.4	-0.3	149.9	2.2
		13歳	159.7	159.4	0.3	159.5	0.2	157.5	2.2
		14歳	165.1	165.4	-0.3	165.1	0.0	163.9	1.2
	高等学校	15歳	168.9	168.9	0.0	168.4	0.5	167.4	1.5
		16歳	170.3	170.0	0.3	169.8	0.5	169.5	0.8
		17歳	171.1	171.9	-0.8	170.7	0.4	170.4	0.7
女子	幼稚園	5歳	109.5	109.4	0.1	109.5	0.0	109.4	0.1
		6歳	115.3	115.7	-0.4	115.6	-0.3	115.3	0.0
	小学校	7歳	121.8	121.6	0.2	121.6	0.2	121.2	0.6
		8歳	127.6	127.6	0.0	127.4	0.2	125.9	1.7
		9歳	133.6	133.4	0.2	133.4	0.2	131.8	1.8
		10歳	140.4	140.2	0.2	140.1	0.3	138.5	1.9
		11歳	147.2	146.5	0.7	146.7	0.5	145.2	2.0
	中学校	12歳	152.0	151.5	0.5	151.9	0.1	150.3	1.7
		13歳	155.0	154.9	0.1	155.0	0.0	154.6	0.4
		14歳	156.8	156.7	0.1	156.5	0.3	156.4	0.4
	高等学校	15歳	157.4	157.7	-0.3	157.2	0.2	156.5	0.9
		16歳	157.7	157.9	-0.2	157.6	0.1	157.3	0.4
		17歳	157.9	158.3	-0.4	158.0	-0.1	156.9	1.0

※30年前(親の世代)は、昭和57年度の数值である。

(2) 体重

ア 前年度との比較

- ・男子は、5歳、13歳、15歳の各年齢で前年度より増加している。
- ・女子は、5歳、10～12歳の各年齢で前年度より増加している。

イ 全国平均値との比較

- ・男子は8歳で上回っているほかは、全国平均値を下回っている。
- ・女子は10歳、11歳で上回り、7～9歳で同水準となっているほかは、全国平均値を下回っている。

ウ 30年前(親の世代)との比較

- ・男子は、5歳で下回っているほかは、30年前を上回っている。
- ・女子は、5歳、14～16歳で下回り、17歳で同水準となっているほかは、30年前を上回っている。
- ・最も伸びの大きい年齢は、男子が11歳(37.6kg)で2.5kg、女子が11歳(39.4kg)で2.4kg重くなっている。

エ 男子と女子の比較

- ・10～12歳で、女子が男子を上回っている。

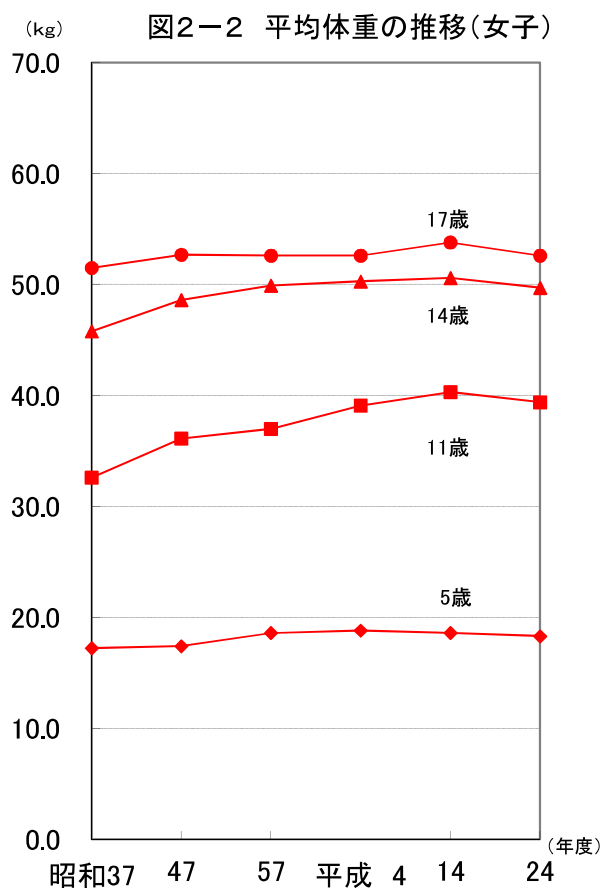
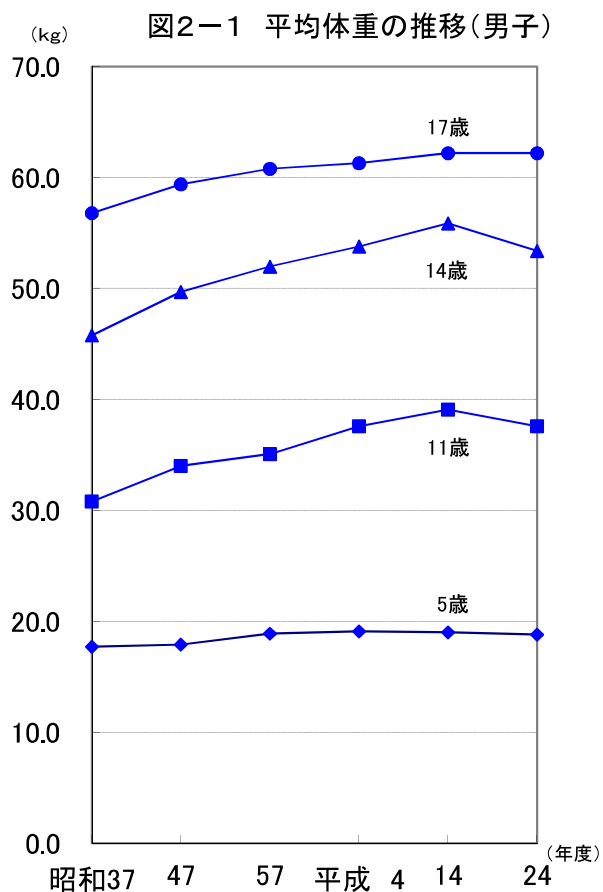


表2 年齢別 体重の平均値

(単位:kg)

区分		平成24年度 (A)	平成23年度 (B)	前年との差 (A-B)	全国(H24) (C)	全国との差 (A-C)	30年前(親の世代) (D)	親の世代との差 (A-D)	
男子	幼稚園	5歳	18.8	18.5	0.3	18.9	-0.1	18.9	-0.1
	小学校	6歳	21.2	21.6	-0.4	21.3	-0.1	20.8	0.4
		7歳	23.7	23.8	-0.1	24.0	-0.3	23.1	0.6
		8歳	27.2	27.2	0.0	27.1	0.1	25.9	1.3
		9歳	30.2	30.6	-0.4	30.5	-0.3	28.9	1.3
		10歳	33.4	34.3	-0.9	34.0	-0.6	31.6	1.8
		11歳	37.6	37.8	-0.2	38.2	-0.6	35.1	2.5
	中学校	12歳	43.1	43.8	-0.7	44.0	-0.9	40.7	2.4
		13歳	48.6	48.5	0.1	49.0	-0.4	46.3	2.3
		14歳	53.4	53.9	-0.5	54.2	-0.8	52.0	1.4
	高等学校	15歳	59.0	58.8	0.2	59.2	-0.2	56.3	2.7
		16歳	60.4	61.1	-0.7	61.1	-0.7	59.3	1.1
		17歳	62.2	63.8	-1.6	62.9	-0.7	60.8	1.4
女子	幼稚園	5歳	18.3	18.2	0.1	18.5	-0.2	18.6	-0.3
	小学校	6歳	20.6	20.8	-0.2	20.9	-0.3	20.5	0.1
		7歳	23.5	23.5	0.0	23.5	0.0	23.0	0.5
		8歳	26.3	26.5	-0.2	26.3	0.0	25.1	1.2
		9歳	29.9	29.9	0.0	29.9	0.0	28.3	1.6
		10歳	34.2	33.9	0.3	34.0	0.2	32.1	2.1
		11歳	39.4	38.5	0.9	38.9	0.5	37.0	2.4
	中学校	12歳	43.5	42.8	0.7	43.7	-0.2	42.2	1.3
		13歳	47.0	47.2	-0.2	47.4	-0.4	46.4	0.6
		14歳	49.7	50.1	-0.4	49.9	-0.2	49.9	-0.2
	高等学校	15歳	51.0	51.0	0.0	51.6	-0.6	51.6	-0.6
		16歳	51.3	52.3	-1.0	52.5	-1.2	52.7	-1.4
		17歳	52.6	52.9	-0.3	52.9	-0.3	52.6	0.0

※30年前(親の世代)は、昭和57年度の数値である。

(3) 座高

ア 前年度との比較

- ・男子は、5歳、7歳、11歳、15歳、16歳の各年齢で前年度より増加している。
- ・女子は、5歳、7～15歳の各年齢で前年度より増加している。

イ 全国平均値との比較

- ・男子は12歳で下回り、6歳、13歳、14歳で同じとなっているほかは、全国平均値を上回っている。
- ・女子は6歳で下回り、13歳で同じとなっているほかは、全国平均値を上回っている。

ウ 30年前(親の世代)との比較

- ・男子は5歳、6歳で下回っているほかは、30年前を上回っている。
- ・女子は5歳、6歳で下回り、7歳で同水準となっているほかは、30年前を上回っている。
- ・最も伸びの大きい年齢は、男子が11歳(77.9cm)で1.3cm、女子は11歳(79.8cm)で1.2cm高くなっている。

エ 男子と女子の比較

- ・9～12歳で、女子が男子を上回っている。

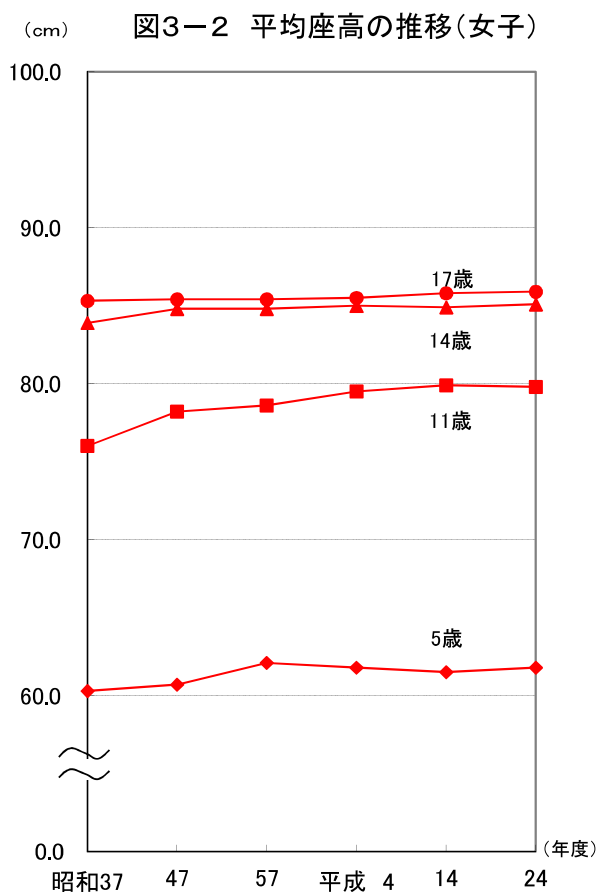
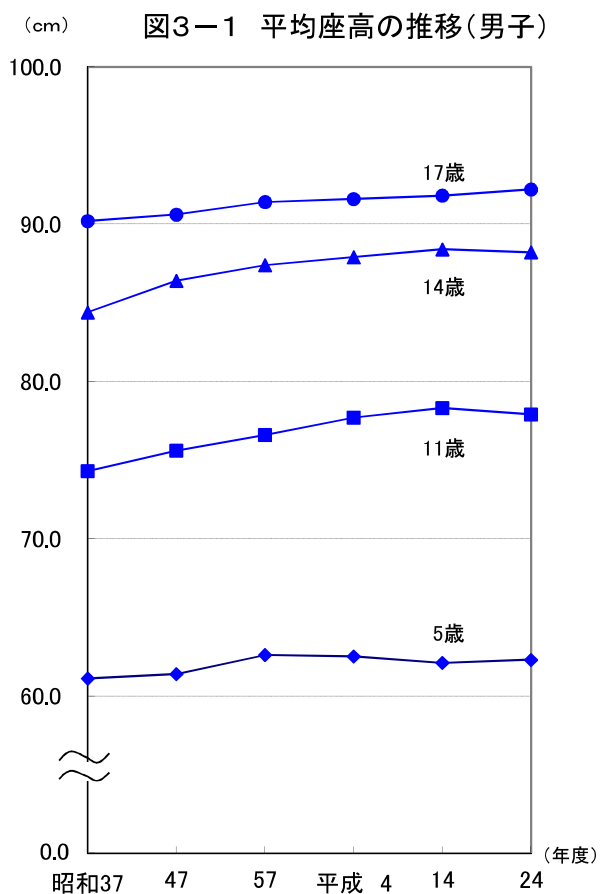


表3 年齢別 座高の平均値

(単位:cm)

区分		平成24年度 (A)	平成23年度 (B)	前年との差 (A-B)	全国(H24) (C)	全国との差 (A-C)	30年前(親の世代) (D)	親の世代との差 (A-D)	
男子	幼稚園	5歳	62.3	62.0	0.3	61.9	0.4	62.6	-0.3
	小学校	6歳	64.8	65.0	-0.2	64.8	0.0	65.2	-0.4
		7歳	67.8	67.3	0.5	67.6	0.2	67.7	0.1
		8歳	70.5	70.7	-0.2	70.3	0.2	70.1	0.4
		9歳	73.0	73.2	-0.2	72.6	0.4	72.4	0.6
		10歳	75.0	75.2	-0.2	74.9	0.1	74.3	0.7
		11歳	77.9	77.8	0.1	77.5	0.4	76.6	1.3
	中学校	12歳	81.2	81.7	-0.5	81.3	-0.1	80.3	0.9
		13歳	84.9	85.0	-0.1	84.9	0.0	83.9	1.0
		14歳	88.2	88.3	-0.1	88.2	0.0	87.4	0.8
	高等学校	15歳	90.7	90.6	0.1	90.3	0.4	89.7	1.0
		16歳	91.7	91.6	0.1	91.3	0.4	91.0	0.7
		17歳	92.2	92.6	-0.4	91.9	0.3	91.4	0.8
女子	幼稚園	5歳	61.8	61.7	0.1	61.4	0.4	62.1	-0.3
	小学校	6歳	64.2	64.6	-0.4	64.4	-0.2	64.8	-0.6
		7歳	67.5	67.3	0.2	67.3	0.2	67.5	0.0
		8歳	70.3	70.0	0.3	69.9	0.4	69.6	0.7
		9歳	73.1	72.8	0.3	72.6	0.5	72.3	0.8
		10歳	76.2	76.0	0.2	75.8	0.4	75.3	0.9
		11歳	79.8	79.3	0.5	79.2	0.6	78.6	1.2
	中学校	12歳	82.4	81.9	0.5	82.2	0.2	81.5	0.9
		13歳	83.9	83.8	0.1	83.9	0.0	83.6	0.3
		14歳	85.1	85.0	0.1	84.9	0.2	84.8	0.3
	高等学校	15歳	86.0	85.7	0.3	85.4	0.6	85.4	0.6
		16歳	85.9	86.2	-0.3	85.7	0.2	85.6	0.3
		17歳	85.9	86.2	-0.3	85.8	0.1	85.4	0.5

※30年前(親の世代)は、昭和57年度の数値である。

2 健康状態(疾病・異常)

(1) 前年度との比較

ア 裸眼視力1.0未満

- ・「裸眼視力1.0未満」の者の割合は、男子、女子ともに、小学校及び高等学校において前年度より高くなっている。
- ・全ての学校区分において、女子の方が男子より高くなっている。

イ むし歯(う歯)

- ・「むし歯(う歯)」の者の割合は、男子は、幼稚園及び小学校において前年度より高くなっている。
- ・女子は、中学校を除く全ての学校区分において前年度より高くなっている。
- ・小学校を除く全ての学校区分において、女子が男子より高くなっている。

ウ ぜん息

- ・「ぜん息」の者の割合は、男子は、幼稚園を除く全ての学校区分において前年度より低くなっている。
- ・女子は、小学校及び中学校において前年度より低くなっている。
- ・幼稚園を除く全ての学校区分において、女子が男子より低くなっている。

エ アトピー性皮膚炎

- ・「アトピー性皮膚炎」の者の割合は、男子は、全ての学校区分において前年度より低くなっている。
- ・女子は、小学校及び中学校において前年度より低くなっている。
- ・小学校と中学校において、女子が男子より低くなっている。

表1 前年度との比較(鳥取県)

(単位:%)

区 分	裸眼視力1.0未満		むし歯(う歯)		ぜん息		アトピー性皮膚炎		
	平成24年度	平成23年度	平成24年度	平成23年度	平成24年度	平成23年度	平成24年度	平成23年度	
男子	幼稚園	30.7	x	45.8	40.5	1.8	1.0	2.8	3.6
	小学校	28.0	27.4	65.3	62.3	8.2	10.1	7.6	8.4
	中学校	50.9	52.1	49.0	50.2	5.5	6.8	4.9	5.2
	高等学校	63.7	60.0	55.7	55.8	3.7	4.2	4.2	5.1
女子	幼稚園	33.4	x	48.9	42.2	1.9	1.4	4.3	2.8
	小学校	33.9	33.7	61.0	59.6	4.4	6.1	6.6	7.0
	中学校	58.3	61.1	51.2	52.0	3.3	3.9	4.3	5.3
	高等学校	68.8	64.8	61.4	59.7	2.9	2.9	4.6	4.4

(注)1 この表は、疾病・異常該当者(疾病・異常に該当する旨健康診断票に記載があった者)の割合の推定値を示したものである。

2 「X」はサンプル数が少なく、誤差が大きい(標準誤差が5%以上)ため統計数値を公表しない。

3 むし歯(う歯)には、処置完了者も含む。

(2) 全国平均値との比較

ア 裸眼視力1.0未満

- ・「裸眼視力1.0未満」の者の割合は、男子は、全ての学校区分において全国平均値より高くなっている。
- ・女子は、幼稚園及び高等学校において全国平均値より高くなっている。

イ むし歯(う歯)

- ・「むし歯(う歯)」の者の割合は、男子、女子ともに、全ての学校区分において全国平均値より高くなっている。

ウ ぜん息

- ・「ぜん息」の者の割合は、男子は、幼稚園を除く全ての学校区分において全国平均値より高くなっている。
- ・女子は、全ての学校区分において全国平均値より高くなっている。

エ アトピー性皮膚炎

- ・「アトピー性皮膚炎」の者の割合は、男子は、幼稚園を除く全ての学校区分において全国平均値より高くなっている。
- ・女子は、全ての学校区分において全国平均値より高くなっている。

- ・全国平均値では全ての学校区分において男子が女子より高いのに対し、鳥取県では幼稚園及び高等学校において女子が男子より高くなっている。

表2 全国平均値との比較

(単位:%)

区 分		裸眼視力1.0未満		むし歯(う歯)		ぜん息		アトピー性皮膚炎	
		鳥取県	全国	鳥取県	全国	鳥取県	全国	鳥取県	全国
男子	幼稚園	30.7	27.23	45.8	43.89	1.8	2.91	2.8	3.04
	小学校	28.0	27.42	65.3	57.44	8.2	5.09	7.6	3.56
	中学校	50.9	50.33	49.0	44.56	5.5	3.54	4.9	2.62
	高等学校	63.7	60.53	55.7	55.62	3.7	2.22	4.2	2.26
女子	幼稚園	33.4	27.81	48.9	41.80	1.9	1.74	4.3	2.70
	小学校	33.9	34.09	61.0	54.01	4.4	3.30	6.6	2.92
	中学校	58.3	58.70	51.2	46.83	3.3	2.34	4.3	2.32
	高等学校	68.8	67.20	61.4	59.62	2.9	1.59	4.6	1.87

(注)1 この表は、疾病・異常該当者(疾病・異常に該当する旨健康診断票に記載があった者)の割合の推定値を示したものである。

2 「X」はサンプル数が少なく、誤差が大きい(標準誤差が5%以上)ため統計数値を公表しない。

3 むし歯(う歯)には、処置完了者も含む。

(3) 30年前(親の世代)との比較

ア 裸眼視力1.0未満

- ・「裸眼視力1.0未満」の者の割合は、全ての学校区分において30年前より高くなっている。

イ むし歯(う歯)

- ・「むし歯(う歯)」の者の割合は、全ての学校区分において30年前より低くなっている。

ウ ぜん息

- ・「ぜん息」の者の割合は、全ての学校区分において30年前より高くなっている。

表3 30年前(親の世代)との比較(鳥取県)

(単位:%)

区 分	裸眼視力1.0未満		むし歯(う歯)		ぜん息	
	平成24年度	30年前	平成24年度	30年前	平成24年度	30年前
幼稚園	32.0	11.77	47.3	91.98	1.9	0.36
小学校	30.9	16.10	63.2	96.02	6.3	1.03
中学校	54.5	36.64	50.1	96.66	4.4	0.45
高等学校	66.3	59.63	58.6	97.75	3.3	0.09

(注)1 この表は、疾病・異常該当者(疾病・異常に該当する旨健康診断票に記載があった者)の割合の推定値を示したものである。

2 むし歯(う歯)には、処置完了者も含む。

3 30年前(親の世代)は、昭和57年度の数値である。

表1 都道府県別 肥満傾向児の出現率

参考資料

単位 (%)

区 分	幼稚園		小学校		中学校		高等学校	
	5歳	順位	11歳	順位	14歳	順位	17歳	順位
全 国	2.39		9.32		7.90		9.55	
北 海 道	4.27	3	12.16	7	11.45	2	12.52	8
青 森 県	4.19	4	11.19	11	11.17	3	11.98	9
岩 手 県	4.77	2	12.42	5	9.94	8	13.57	3
宮 城 県	3.37	11	14.97	1	10.57	5	10.28	17
秋 田 県	3.55	9	9.62	21	10.07	7	12.85	7
山 形 県	2.90	13	12.46	4	8.30	20	10.41	16
福 島 県	4.86	1	14.53	2	11.47	1	14.11	1
茨 城 県	4.11	5	11.38	10	8.24	21	12.95	6
栃 木 県	3.59	8	12.40	6	9.90	9	13.26	5
群 馬 県	2.91	12	10.45	17	8.19	23	9.30	24
埼 玉 県	1.92	37	8.61	32	7.48	31	8.71	31
千 葉 県	2.38	24	10.12	19	8.73	16	9.23	27
東 京 都	2.07	32	8.75	31	7.39	33	8.37	37
神 奈 川 県	1.79	38	8.10	36	6.05	44	7.86	42
新 潟 県	2.01	33	10.89	13	6.85	39	10.84	11
富 山 県	2.25	25	7.63	39	7.81	27	9.07	29
石 川 県	1.57	41	10.13	18	8.22	22	9.31	23
福 井 県	0.80	47	6.20	47	6.60	41	10.42	15
山 梨 県	2.58	19	10.91	12	8.98	15	9.27	26
長 野 県	2.75	17	8.87	29	7.81	27	9.66	20
岐 阜 県	2.50	23	8.81	30	6.33	43	7.34	45
静 岡 県	1.75	40	6.76	44	7.48	31	8.27	38
愛 知 県	1.55	42	8.19	35	6.96	38	6.98	47
三 重 県	2.18	27	6.75	45	8.09	24	7.43	44
滋 賀 県	2.00	34	7.89	38	6.61	40	10.25	18
京 都 府	1.24	46	7.35	42	5.75	46	8.56	32
大 阪 府	1.76	39	8.96	28	6.45	42	10.51	14
兵 庫 県	2.59	18	6.74	46	6.97	37	8.47	34
奈 良 県	1.98	35	9.59	22	7.23	34	7.58	43
和 歌 山 県	2.14	29	9.54	24	9.17	13	10.78	13
鳥 取 県	2.54	21	8.04	37	5.45	47	7.30	46
島 根 県	1.38	45	9.16	25	8.07	25	7.90	41
岡 山 県	2.78	15	9.59	22	7.87	26	8.99	30
広 島 県	1.48	44	7.15	43	7.21	35	8.21	40
山 口 県	1.53	43	8.37	34	5.94	45	9.42	21
徳 島 県	4.04	6	10.51	16	9.69	10	13.28	4
香 川 県	2.58	19	7.51	40	10.50	6	9.29	25
愛 媛 県	2.13	31	7.38	41	7.68	29	8.49	33
高 知 県	2.14	29	10.55	15	8.56	17	9.41	22
福 岡 県	2.15	28	8.97	27	8.56	17	11.41	10
佐 賀 県	2.21	26	8.51	33	7.10	36	8.23	39
長 崎 県	2.88	14	8.99	26	7.68	29	8.41	36
熊 本 県	3.55	9	9.81	20	8.42	19	9.99	19
大 分 県	2.52	22	13.55	3	9.59	12	10.79	12
宮 崎 県	2.78	15	12.03	8	9.65	11	13.98	2
鹿 児 島 県	1.96	36	10.89	13	9.15	14	9.20	28
沖 縄 県	3.65	7	11.91	9	10.65	4	8.44	35

(注) 肥満傾向児とは、性別・年齢別・身長別標準体重から肥満度を求め、肥満度が20%以上の者である。

$$\text{肥満度} = (\text{実測体重} - \text{身長別標準体重}) / \text{身長別標準体重} \times 100 (\%)$$

表2 都道府県別 痩身傾向児の出現率

参考資料

単位 (%)

区 分	幼稚園		小学校		中学校		高等学校	
	5歳	順位	11歳	順位	14歳	順位	17歳	順位
全 国	0.36		3.25		2.49		1.75	
北 海 道	0.50	12	4.31	2	2.11	21	1.50	25
青 森	0.18	37	2.79	25	1.42	42	1.00	40
岩 手	0.31	26	2.53	34	1.90	28	1.36	32
宮 城	0.16	40	3.15	18	1.19	46	1.44	28
秋 田	0.50	12	2.86	23	1.33	44	1.24	36
山 形	0.08	45	3.36	13	2.35	18	2.00	14
福 島	0.29	30	2.62	31	1.46	40	1.48	27
茨 城	0.36	20	2.19	41	2.11	21	2.07	11
栃 木	0.26	33	1.96	43	2.83	8	2.21	7
群 馬	0.45	17	3.40	11	1.97	26	0.94	43
埼 玉	0.30	29	3.72	7	1.70	35	1.09	39
千 葉	0.60	8	4.43	1	2.55	12	2.03	12
東 京	0.36	20	4.12	4	3.28	2	2.40	5
神 奈 川	0.33	25	3.97	5	2.81	9	1.97	16
新 潟	0.10	43	1.80	45	2.36	17	2.13	10
富 山	0.09	44	1.51	46	1.30	45	1.15	37
石 川	0.53	10	2.65	29	1.80	32	0.93	44
福 井	0.82	1	2.68	27	1.86	30	3.61	1
山 梨	0.74	4	2.20	40	1.85	31	1.68	21
長 野	0.05	46	3.69	8	2.11	21	0.80	46
岐 阜	0.31	26	3.38	12	3.16	4	1.99	15
静 岡	0.59	9	3.33	15	2.59	11	1.31	33
愛 知	0.36	20	3.08	21	4.82	1	2.66	3
三 重	0.68	6	2.63	30	2.60	10	2.80	2
滋 賀	0.69	5	3.56	10	2.89	6	1.53	24
京 都	0.51	11	2.41	37	2.42	15	2.39	6
大 阪	0.40	18	2.84	24	3.22	3	1.42	29
兵 庫	0.19	36	3.74	6	1.79	33	1.50	25
奈 良	0.38	19	3.36	13	2.12	20	1.70	20
和 歌 山	0.31	26	4.14	3	2.84	7	1.63	22
鳥 取	0.18	37	3.09	20	1.73	34	1.31	33
島 根	0.80	2	1.92	44	2.30	19	0.95	42
岡 山	0.34	23	2.70	26	2.46	14	2.65	4
広 島	0.25	34	3.16	17	2.54	13	1.37	31
山 口	0.48	14	2.62	31	3.09	5	2.21	7
徳 島	0.16	40	2.68	27	1.87	29	1.91	17
香 川	0.47	15	3.10	19	1.45	41	1.71	19
愛 媛	0.46	16	2.35	38	1.39	43	1.42	29
高 知	0.28	31	2.57	33	1.54	39	1.26	35
福 岡	-	47	3.62	9	2.40	16	1.14	38
佐 賀	0.80	2	3.08	21	1.94	27	0.83	45
長 崎	0.24	35	3.20	16	2.00	25	1.82	18
熊 本	0.13	42	2.46	36	1.68	36	2.01	13
大 分	0.27	32	2.07	42	1.64	38	1.62	23
宮 崎	0.34	23	2.28	39	1.66	37	0.96	41
鹿 児 島	0.63	7	2.49	35	2.01	24	0.70	47
沖 縄	0.17	39	1.40	47	0.69	47	2.14	9

(注) 痩身傾向児とは、性別・年齢別・身長別標準体重から肥満度を求め、肥満度が-20%以下の者である。

$$\text{肥満度} = (\text{実測体重} - \text{身長別標準体重}) / \text{身長別標準体重} \times 100 (\%)$$